



TAKE OFF press

TAKEO Future Frontier

【校是】 質実剛健 報恩感謝

佐賀県立武雄高等学校

校長通信 NO.10 R5.08.15

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp



学校 HP

I was born –受け取った命を主体的に–

日本の8月は特別な季節だと感じます。“命”について考える機会が多いからです。

外国ではどうなのでしょう。広島・長崎への原爆投下、終戦記念日、お盆、、、と亡くなった方々へと連なる記憶を辿るニュースや記事によく出会います。

こういう時、私は吉野弘の「I was born」という詩（口語自由詩）を思い出します。皆さんが使っている（或いは使った）国語の教科書にも載っているかもしれません。

… I was born さ。受身形だよ。正しく言うと人間は生まれさせられるんだ。自分の意志ではないんだね

ここに示したのはその一節ですが、この詩全体としては、少年とその父との会話が織りなす幻想的な世界が描き出されています。ざっと次のような内容です。

英語を学習したての少年がある妊婦とすれ違った時、日本語でも英語でも「生まれる」は受動態であることに気づき、父にその驚きを伝える。それを聞いた父は^{はかな}い^{かげろう}寿命の蜉蝣の話をする。

蜉蝣、、、口も退化し胃の中も空っぽの蜉蝣がこの世に生きる意味はあるのか。しかしその蜉蝣の腹には無数の卵が胸元にまで詰まっている、、、

父はその話の結びに、少年を生んですぐに亡くなった母親のことを告げる。少年は自分の肉体が母の胎内を満たしていたことに思いを馳せる、、、

生む側の命と引き換えに新しい命が生み落とされる。生まれることと死にゆくことつながり。そこから逃れることはできない。それはある意味、哀しくせつない。

そう考えてみると、私たちは戦争で亡くなられた人たちの上に生きているわけだし、その命は自分の意志ではなく、もともと与えられたものではあるけれども、生み落とされた瞬間から主体性が求められ、初めは無防備な赤子も自分とは何かに迷いながら、徐々に自らの足で歩き始める。まさに今の皆さんのように。



ところで、思春期を“自分探しの旅”に例えることがよくあります。自分という存在がよくわからず（アイデンティティクライシス・自我崩壊）、本物の自分はきっとどこかにいる、それを求めてもがきつづけるのが青春だ、みたいな、、、

しかし、私はそうは思いません。“自分”とは既にどこかに存在していてそれを探し出せばよい、発見すればいいというたぐいのものではないのです。そうではなく、“自分”とはまさに能動的に今この瞬間も現在進行形として創っていくもの、受身形でもらった“命”を自分の力で生きる形に整えていく営みなのだと思います。

言葉を換えれば、自ら学ぶことをとおして初めて徐々に自分が何者であるか、その姿が現れてきます。何かを学ぶ中で身につけたものをもって初めて、自分が一体何者であるか、自分自身の目にも見えるようになるものです。

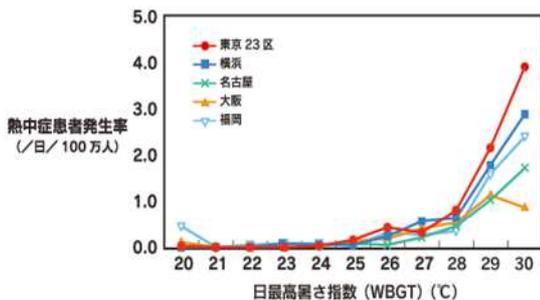
哲学者の斎藤^{よしみち}慶典は言っています。「何を学んだかによって自分が誰であるかが決まる」。

夏はまだ残り半分あります。この夏にやり残したことは多いはず。まだまだやれる。そういう能動的な姿勢が“あなた”を創る。青春の真っ只中に生きる君たちに熱いエールを送りたい。“頑張れ！”

暑さ指数って何？ — 熱中症に注意 —

ここ数年、暑さ指数をもとに「熱中症警戒アラート」が発表されることが多くなりました。暑さ指数 (WBGT (湿球黒球温度) : Wet Bulb Globe Temperature) とは、熱中症を予防することを目的として 1954 年にアメリカで提案された指標です。単純に気温だけでなく、湿度や日差しの違いをも考慮してあり、熱中症予防に直結する数値なのです。

暑さ指数 (WBGT) が 28 (嚴重警戒) を超えると熱中症患者が著しく増加することが統計的に明らかになっています。(図表は環境省の HP <https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt.php>)



気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

9 月には学校祭の準備も本格化します。日常生活の中で最高気温だけでなく、暑さ指数 (WBGT) もしっかりと考慮しながら、部活動をはじめ屋外での活動時の自己管理を行ってください。

武高生は世界標準？ 日本標準？ — 1 学期意識調査結果 —

武雄高校の学校教育目標がどれくらい達成されたか、その指針の一つとなるよう全校生徒の皆さんを対象に意識調査を行いました。今回はその一部を報告します。

この質問は 9 か国の 17 歳から 19 歳の青年を対象とした「18 歳意識調査」の中で行われた「社会や国に対する意識調査」と同じ項目です。



厳密にいうと対象者や集計方法が異なりますので、一概に比較することはできませんが、それでも大まかな状況を知ることができ、たいへん興味深い傾向を感じました。(左図)

「自分を大人だと思う」人は、本校および日本は他国に比べかなり低いですね。「自分には将来の夢がある」という項目についても、インドやアメリカ

は 90% を超えており、意外に水をあけられています。

武雄高校は、皆さん一人一人の自立に向けて全力で支援できる学校でありたいと思っています。

【当面の主な予定 (8 月後半)】

- 16 日 (水) 後期補習 (3 年授業日) 25 日まで
- 19 日 (土) 個別大模試 (3 年)
- 25 日 (金) SC 来校
- 26 日 (土) 県下一斉模試 (3 年は 27 日まで)
- 31 日 (木) 始業式

(閑人閑話)
お盆休み、一念発起して断捨離を敢行。我が家の蔵書整理に手を付けた▼若いころから買いためてきたがもう読まないかもしれないと思われ愛読書を段ボール二十箱ほどに詰め、近くの古本買取店に持ち込んだ▼「量がありますので確認に少しお時間をください」と若い店員さんの笑顔が好印象。「時間はあります。また夕方来ます」と言っていたのは最近発行された本とうちの娘が紛れ込ませていた漫画の単行本の数冊のみ。学生時代から小遣いを投じて買った本のほとんどには値が付かなかった▼若い店員さんは気の毒そうに他の本を引き取ってくれた。せつない▼我が青春が失われた夏。涙。(昌)